

用言に接続する「です」の普及に関する考察

A study on the spread of an auxiliary verb, “Desu” connected to declinable words

野村 貴郎

NOMURA Kiro

武庫川女子大学 学校教育センター年報

第4号 2019年

用言に接続する「です」の普及に関する考察

A study on the spread of an auxiliary verb, “Desu” connected to declinable words

野村貴郎*

NOMURA, Kiro*

要旨

助動詞「です」の使用状況を、18歳～24歳の377名に対するアンケートをもとに考察した。その結果、(1)動詞に接続する「です」の用法で、よく普及しているのは「～ませんでした」の形だけであるが、「～でしょう」の形に定着の傾向が見られること。それに対して「～です」や「～たです」の形は認められておらず、その他の形は、まだ“ゆれ”ていること。(2)形容詞に接続する「です」の用法は比較的よく普及しており、「～です」「～ですか」「～たです」の形は、ほぼ完全に定着していること。しかし、その他の形は、なお“ゆれ”ていること。(3)格助詞(準体助詞も含む)「の」「ん」に接続する「です」の用法は、少なくともこの調査からは徐々に衰退しつつあることなどがわかった。

また、1999年のデータを用いて、この18年間の使用率の変化も考察し、(4)形容詞に接続する「です」「～たです」の用法が、ほぼ定着していること。(5)動詞に接続する「～でしょう」の用法や、用言に接続する「～ないです」の用法が、しだいに定着してきていることなどを確認した。

キーワード：です 敬讓指定 助動詞 敬語 丁寧語

はじめに

1952年4月、国語審議会は「これからの敬語」⁽¹⁾(7 形容詞と「です」)で、「これまで久しく問題となっていた形容詞の結び方—たとえば、『大きいです』『小さいです』などは、平明・簡素な形として認めてよい」と建議し、学校教育もその方針に沿って文法教育がなされてきたが、この〔形容詞の終止形+です〕の用法は、現在⁽²⁾どの程度まで普及・定着しているのだろうか。

形容詞に接続する場合に限らず、われわれは日常生活において「です」の用法に疑問を感じたり、違和感をもったりすることが多い。現在もなお“ゆれ”ているのである。そこで2017年5月、20歳前後の人を対象として、〈その1〉〈その2〉の2種の「です」に関するアンケート調査を行った。そして、「です。」で文を言い切る形の50の例文をもとにした〈その1〉のアンケート調査に基づいて、「です。」がどのような語に接続し、どの程度普及しているかを、調査結果をもとに考察し、その結果を拙稿⁽³⁾にまとめた。

そして、2017年段階では1996年に比べて“ゆれ”が小さくなっていることを実感した。しかし、〈その1〉のアンケート調査は、「です。」で言い切る形に限定して、各品詞に「です。」が接続するかどうかを調査したものであり、「です」の各活用形や、「です」のあとに助詞や助動詞がついた形を除外しているため、「です」の用法全体を考える上では不十分と言わざるを得ない。

そこで今回は、それを補うために、55の短い例文からなる〈その2〉の調査結果をもとに考察してみた。

* 教育学科名誉教授

1. 研究の目的

敬讓指定の助動詞「です」の用法は現在もなお“ゆれ”ている。本稿では、2017年5月に18歳～24歳の377名に対して実施したアンケート調査〈その1〉をもとにした考察の不備を補うべく、〈その2〉の調査結果をもとに、用言⁽⁴⁾に接続する「です」の各種形が、どの程度正しい用法として認められているか具体的に検討し考察してみる。加えて、〈その1〉の調査で疑問を残した格助詞（準体助詞も含む）「の」「ん」に接続する「です」の使用の現状についても確認する。

また、1999年に11歳から82歳までの778名にアンケート調査を実施し、年代別の使用状況を考察した拙稿⁽⁵⁾を発表したが、そのデータから今回あらためて18歳～24歳の205名を抽出して集計し直し、この18年間の使用状況の変化にも注目する。

2. 調査研究の方法

1999年のアンケート調査と同じく、「です」が用言に接続する形になる55の短い例文を使用して、アンケート調査した。（後掲【アンケート】参照）

具体的には、用言としては動詞と形容詞のみを採り上げ、動詞は「行く」「困る」、形容詞は「美しい」「白い」「多い」「痛い」「いい」「ない」、それらの語に接続する「です」の形として「～です。」「～ですか?」「～でしょう。」「～ないです。」「～ませんでした。」「～なかったです。」「～たです。」「～のです。」「～んです。」を選び、その結果集計をもとに「です」の使用状況を考察した。

3. 調査の内容

(1) 実施時期と調査対象

実施時期；2017年5月

調査対象；18歳～24歳の大学生377名

(1999年2月のアンケート調査から抽出した18歳～24歳の高校生・大学生・社会人205名のデータも集計し利用した)

(2) 調査項目

1999年のアンケート調査と同じ「です」が用言に接続する形になる55の短い例文を使用して、問1～55とした。そして、それぞれの用法について「1＝正しいと思うので使っている」（以下、①是認使用という）「2＝少し変だと思うが使っている」（以下、②半疑使用）「3＝正しいと思うが私は使わない」（以下、③半信不使用）「4＝変だと思うので私は使わない」（以下、④否認不使用）の4種の選択肢を用意し、その中から一つを選ぶ形式とした。さらに、問56で年齢、問57で卒業した小学校の所在都道府県名も書いてもらった。

(3) 結果の処理

集めたアンケートのデータをコンピュータに入力し、表計算ソフトを使って処理した。そして、質問番号順に、それぞれの選択肢の回答人数と回答率（百分率、小数点以下第2位を四捨五入）を1～4の回答別にまとめて一覧表にした。さらに、例文を用法別整理番号順に並べ換えた一覧表を作成し、「助動詞『です』の使用状況に関する調査／回答者数(人)・回答率(%)集計表」（後掲【集計表】）としてまとめ、それをもとに考察した。

4. 調査結果とその考察

主として【集計表】「助動詞『です』の使用状況に関する調査／回答者数(人)・回答率(%)集計表」によって「です」の使用状況を考察したが、その結果、以下のようなことが明らかになった。

- (1) 【動詞+です。】の用法は認められていない。これは「です」の発生当初は存していたが、現在では一般的に認められない用法となっているものである。調査の結果も、整理番号 1 (以後、No.1のように記す)「行くです」も、No.2「困るです」も 99.8% (1999年調査ではNo.1「行くです」が 99.5%、No.2「困るです」が 98.5%。以後、百分率のみを記す)の人が使用しない(③半信不使用+④否認不使用)と回答しており、しかも、そのほぼ全員の 99.5%が④否認不使用で、この用法を明らかに誤用であると認識している。動詞を丁寧体にするには「行きます」「困ります」の形があり、それが一般化しているからであろう。

ただし、吉田⁽⁶⁾が「この言い方は現代でも多く存し、これは方言的発想に由来する表現であるとみられる」と指摘しているように、管見の及ぶところ、現代でも山梨県甲府市⁽⁷⁾、島根県大田市⁽⁸⁾や隠岐島⁽⁹⁾、佐賀県⁽¹⁰⁾、長崎県⁽¹¹⁾、熊本県⁽¹²⁾など、「行くです」「するです」「あるです」のような表現を使用している地方も存している。

- (2) 【形容詞+です。】の用法は、一部の語を除き、定着しているといえる。使用率(①是認使用+②半疑使用)は、No.3「美しいです」99.2% (94.6%)、No.4「白いです」97.1% (88.8%)、No.5「多いです」97.9% (91.2%)、No.6「痛いです」99.7% (93.7%)、No.7「いいです」79.9% (70.7%)、No.8「ないです」95.2% (77.5%)であった。「美しいです」「白いです」「多いです」「痛いです」は、ほぼ全員が①是認使用しており、この用法は定着していると認めてよい。

「ないです」の使用率も 95.2%と高いが、②半疑使用が 10.4%と、やや多く、まだ少し違和感が残っていることを示している。この表現には「～ありません」の形があり、そちらのほうが一般的で、よく使われる用法であるからだと考えられる。しかし、1999年調査と比較すると使用率が 17.7%も上がっており、しかも、④否認不使用が 18.6%から 3.7%へと大きく減少している。

他の例文と異なった結果となったのは「いいです」であった。「いいです」の使用率が他の形容詞と比べて低く、特に④否認不使用や②半疑使用が多い。この表現には「～結構です」の形があり、そちらのほうが一般的で、よく使われる用法であるからだと考えられる。しかし、1999年調査と比較すると、「いいです」の使用率も 9.2%上がっていることに注目すべきであろう。

以上のように、現段階では、まだ違和感をもっている人が多い【形容詞+です。】の用法も残ってはいるものの、1999年調査と比べると全て使用率を上げており、将来的には、多くの形容詞が違和感なく「です」に接続していくものと予想される。

- (3) 【形容詞+ですか。】の用法も、一部の語を除き、定着しているといえる。使用率は、No.9「美しいですか」96.8% (98.5%)、No.10「白いですか」98.2% (95.1%)、No.11「多いですか」95.7% (93.6%)、No.12「痛いですか」96.8% (88.3%)、No.13「いいですか」93.1% (91.3%)、No.14「ないですか」82.7% (74.6%)であった。「美しいですか」「白いですか」「多いですか」「痛いですか」は、90%以上が①是認使用しており、この用法は定着していると認めてよい。

「いいですか」の使用率も 93.1%と高いが、②半疑使用が 8.6%、④否認不使用が 6.1%と、

やや多く、違和感が少々残っているようである。この表現には「～よろしいか」の形もあり、そちらのほうが一般的で、よく使われる用法であるからかもしれない。しかし、No.7「いいです」79.9%と比較すると使用率が13.2%も高く、「いい」に関しては、「いいです」という言い切りよりも、「いいですか」と終助詞をつけたほうが違和感は少ないようである。「いいですね」なども同様に高い使用率を示すものと予想される。

他と異なった結果となったのは「ないですか」であった。「ないですか」の使用率が他の形容詞と比べて低く、特に④否認不使用や②半疑使用が多い。この表現には「～ありませんか」の形があり、そちらのほうが一般的で、よく使われる用法であるからだと考えられる。

(4) [動詞+でしょう。] は、文法的には正しい用法として認められているはずであるが、使用率は、No.15「行くでしょう」56.9% (21.6%)、No.16「困るでしょう」82.8% (61.6%) と、「行くでしょう」に“ゆれ”を表すような結果が出た。「行くでしょう」は①是認使用 46.8% (14.7%)、④否認不使用 21.3% (43.1%)、③半信不使用 21.8% (35.3%) と、“ゆれ”を如実に表すような結果となったが、これは例文が不適當であったことに起因しているものと思われる。例文「今日は図書館に行くでしょう」は、自分の今日の行動という、きわめて身近かつ間近に限定された行動を推量するという設定であり、日常生活においては使うことの少ない表現だと思われるからである。

いっぽう、「困るでしょう」は、①是認使用 78.0% (53.2%)、③半信不使用 15.6% (22.7%) と、ほぼ定着の方向を見せており、この用法は一般的に認められているものと思われる。

また、「行くでしょう」「困るでしょう」とともに、1999年調査と比べると使用率を大きく上げており、[動詞+です。]と異なり、[動詞+でしょう。]の用法は、将来的には、違和感なく使用されていくものと予想される。

(5) [形容詞+でしょう。] の用法は、語の性質によって使用率に差が表れた。

客観的な状態を表すと思われる形容詞の使用率は、No.17「美しいでしょう」83.0% (68.0%)、No.18「白いでしょう」75.2% (58.1%)、No.19「多いでしょう」85.1% (67.4%) と高く、それとは逆に、主観的判断を含むと思われる形容詞の使用率は、No.20「痛いでしょう」45.4% (37.2%)、No.21「いいでしょう」49.0% (31.7%)、No.22「ないでしょう」60.9% (40.0%) と低かった。

客観的な状態を表す「美しいでしょう」「白いでしょう」「多いでしょう」は、①是認使用だけでも67.8～79.8%を占めており、③半信不使用も10.4～13.3%とやや多く、正しい用法と認識している人(①+③)は81.1～90.2%に達している。

それに対して、主観的判断を含む「痛いでしょう」「いいでしょう」「ないでしょう」は、①是認使用38.2～52.9% (24.3～33.2%)、④否認不使用25.8～43.0% (43.4～55.5%)、正しい用法と認識している人(①+③)も49.7～66.2% (37.2～51.4%) と、ほぼ半数ずつに別れており、大きく“ゆれ”ている実態がうかがわれる。主観的判断を含むような表現に「～でしょう」という強い推量や同意を求めるようなニュアンスをもった表現を、若者は避けているものと考えられる。

(6) [用言+ないです。] の用法は、まだ“ゆれ”ているが、しだいに定着してきているようである。形容詞型助動詞・補助形容詞の「ない」は、従来は未然形「でしよ(う)」にしか接続しなかったが、現在では終止形「です」にも接続することが一般化しているものと思われたので調査してみたが、その使用率は、No.23「行かないです」83.8% (59.3%)、No.24「困らない

です」85.6% (73.6%), No.25「美しくないです」84.0% (72.5%), No.26「白くないです」90.1% (81.5%), No.27「多くないです」79.5% (66.2%), No.28「痛くないです」77.2% (57.8%) であった。

使用率は77.2~90.1% (57.8~81.5%) と、定着傾向を見せているようであるが、詳細に見てみると、①是認使用は59.8~70.1% (28.4~52.7%) しかおらず、②半疑使用が13.6~22.6% (14.2~30.9%) と多い。また、④否認不使用も6.9~19.3% (13.2~35.8%) おり、まだ“ゆれ”ているようである。「ない」は形容詞と同様「〜い」で終止する形をもつ形容詞型の助動詞・補助形容詞であるから、当然(2)の「形容詞+です。」のあとを追うように普及しているものと考えていたが、それほどは普及・定着していないようである。考えてみると、この表現には、動詞型には「〜ません」の形が、形容詞型には「〜ありません」や「〜ございません」の形があり、そちらのほうが一般的であることが影響しているといえよう。

いっぽう、1999年調査と比べると、全ての用言において使用率を大きく上げており、この用法がしだいに定着してきている実態も明白であり、将来的には、もっと普及するものと予想される。

- (7) [動詞+ませんでした。] の用法の使用率は、No.29「行きませんでした」96.3% (95.6%), No.30「困りませんでした」94.1% (92.6%), そのうち①是認使用も「行きませんでした」93.1% (94.6%), No.29「困りませんでした」86.7% (90.2%) で、ほぼ完全に正しい用法として定着している。
- (8) [動詞+なかったです。] の用法の使用率は、No.31「行かなかったです」81.6% (69.6%), No.32「困らなかったです」90.4% (82.9%) であった。しかし、そのうち、①是認使用は「行かなかったです」52.9% (33.3%), 「困らなかったです」66.4% (56.1%) しかおらず、②半疑使用が「行かなかったです」28.7% (36.3%), 「困らなかったです」24.0% (26.8%) と多い。また、④否認不使用も「行かなかったです」15.4% (25.5%), 「困らなかったです」8.0% (12.2%) おり、まだ“ゆれ”ているようである。(7)の「動詞+ませんでした。」が一般的な用法として普及しているからであろう。
- (9) [動詞+たです。] の用法は認められていない。不使用はNo.33「行ったです」98.4% (98.5%), No.34「困ったです」96.8% (85.7%) で、そのうち④否認不使用も「行ったです」96.8% (97.5%), No.34「困ったです」96.0% (82.8%) と圧倒的に多い。この表現では「〜ました」が一般的な用法として普及しているからであろう。
- (10) [形容詞+たです。] の用法の使用率は、No.35「美しかったです」96.3% (91.2%), No.36「白かったです」92.4% (88.3%), No.37「多かったです」93.8% (93.2%), No.38「痛かったです」92.5% (79.8%), No.39「なかったです」85.3% (72.9%), ①是認使用も「美しかったです」85.0% (81.8%), No.36「白かったです」73.9% (67.8%), No.37「多かったです」79.6% (77.1%), No.38「痛かったです」81.0% (66.5%), No.39「なかったです」67.2% (53.7%) と、「なかったです」を除いて、ほぼ定着しているといえる。②半疑使用や④否認不使用もやや多かったが、1999年調査と比較して、全ての形容詞において使用率を上げており、これらの用法は、違和感はあるものの、ほぼ定着してきていると考えてよからう。「なかったです」の使用率が低いのは、「〜ありませんでした」という用法が一般的だからであろう。

ところで、この用法は、助動詞「た」に「です。」が接続した形であるから、(9) [動詞+

たです。]で考察した「行ったです」使用率 1.6% (1.5%), 「困ったです」使用率 3.2% (14.2%) と同型であるが、使用率には大きな差があった。同じ [～たです。] の形でありながら、このような違いが生じたのは、助動詞「た」の前の語に関係していると思われる。(9) は動詞に「た」のつく用法、そしてこの (10) は形容詞に「た」のつく用法である。このことから推測するに、この場合の「です。」は、助動詞「た」に接続するというよりも、動詞型に接続するか、形容詞型に接続するかに大きく影響されているものと考えられる。つまり、(1) [動詞+です。] で見たように、「です」は動詞には接続しないという認識と、(2) [形容詞+です。] で見たように、「です」は形容詞には接続するという認識が、そのままこの用法にも反映しているものと思われるのである。すなわち [～たです。] の用法は、助動詞「た」には関係なく、その前の語の性質が「です」に接続すると認められるか否かが正誤の認識を決定しているものと考えられる。(9) [動詞+たです。] の使用率 1.6%~3.2% (1.5%~14.2%), (10) [形容詞+たです。] の使用率 85.3%~96.3% (72.9%~93.2%) という結果は、「です」と動詞や形容詞との結びつきの強さを、そのまま反映しているといえる。

- (11) [用言+のです。] [用言+んです。] の用法は大きく“ゆれ”ている。その使用率は、No.40「行くのです」32.5% (22.0%), No.41「困るのです」40.1% (35.8%), No.42「美しいのです」38.0% (21.5%), No.43「白いのです」38.6% (31.2%), No.44「多いのです」34.3% (23.5%), No.45「痛いのです」40.7% (36.8%), No.46「いいのです」23.3% (13.7%), No.47「ないのです」43.0% (33.9%), No.48「行くんです」70.5% (80.5%), No.49「困るんです」75.8% (87.8%), No.50「美しいんです」60.7% (64.4%), No.51「白いんです」65.9% (79.5%), No.52「多いんです」62.8% (73.1%), No.53「痛いんです」74.7% (85.3%), No.54「いいんです」44.9% (56.6%), No.55「ないんです」72.8% (83.4%) であった。

全て短文で質問したこの調査方法が適切でなかった可能性もあるが、少なくともこの調査方法で得られた結論としては、「のです」の使用率は 23.3~43.0% (13.7~36.8%) と全て 43%以下、「んです」の使用率は 44.9~75.8% (56.6~87.8%) と全て 44%以上であるが、「の」は③半信不使用が、逆に「ん」は②半疑使用が多く、正しい用法と認めている人 (①+③) は、「の」は 31.6~53.4% (34.3~61.3%), 「ん」は 22.0~31.4% (23.4~42.4%) の使用率と逆転する。この用法の使用に迷っている現状がうかがわれる。

この調査結果で意外だったのは、当然正しい用法として認められている体言代用の格助詞 (準体助詞も含む)「の」「ん」に接続する「です」の使用率が予想より極端に低かったことである。この用法は従来から正しい用法であったばかりでなく、[形容詞+です] の用法がまだ認められなかった時期から、動詞や形容詞と「です」をつなぐために盛んに使用されてきた用法であった。ところが、1999年調査で予想外の低使用率だったので、引き続き調査してみたのであるが、今回の調査でも、この用法に違和感をもっている人の多いことを認めざるを得ない結果であった。[動詞+ます] [形容詞+です] の形が一般的な表現として普及し、それに圧されて [動詞+のです] [動詞+んです] や [形容詞+のです] [形容詞+んです] の形は衰退しつつあるのであろう。

また、この形には、強制的で押しつけがましいニュアンスがあり、そういう人間関係を避ける傾向にある若年層に敬遠されるようになったともいえそうである。

おわりに

今回の調査によって、「です」の用法の“ゆれ”が小さくなってきていることを実感した。本調査で大きな“ゆれ”を表している例は、主観的判断を含むと思われる形容詞（「痛い」「いい」「ない」）に「～でしょう」が接続する用法と、用言に「～のです」「～んです」が接続する用法であった。また、他に適切な表現が存在する「用言＋ないです」「用言＋なかったです」にも、やや“ゆれ”が見られるが、それ以外は、高い使用率で定着しているか、逆に極端に低い使用率（誤用と認識）のものがほとんどであった。この“ゆれ”が、いつごろ、どのような形で落ち着くことになるのか、これからも見守っていかねばならないが、「です」の用法、特に「形容詞の終止形＋です」が、今よりもっと許容量の多い、寛容な形で早く落ちつくことが望ましい。

1952年に国語審議会が建議した「これからの敬語」は「平明・簡素」で「各人の基本的人格を尊重する」敬語をめざして、「5 対話の基調」において「これからの対話の基調は『です・ます』体としたい」とも提言しており、この提言を実現させるためには、体言型の「○○です」（例えば「彼女は美人です／美人でした」）や動詞型の「○○ます」（例えば「思いきり遊びます／遊びました」）に対応する形容詞型の「○○です」（例えば「今日は少し暑いです／暑かったです⁽¹³⁾」）という丁寧表現が必要になるからである。従来から、「とんでもないことでございます」「とんでものうございます」などのような丁寧体があるにはあるが、この表現は敬意の度合いが高く、かつ語形も長いため、現代の若年層にとっては使用しづらいと思われる。「形容詞の終止形＋です。」の使い方に対する違和感が少なからず存しているというのが多くの人の感覚でもあろうが、この用法を許容し積極的に使うことによって、その違和感から脱したい。

注・引用文献

- (1) 国語審議会建議「これからの敬語」（7 形容詞と「です」）1952
- (2) 執筆現在は2018年であるが、2017年アンケート調査のデータに基づいている。
- (3) 野村貴郎『「です」言い切り用法の普及に関する考察』『武庫川女子大学 学校教育センター年報』3, 2018, pp.1-10
- (4) 今回は動詞と形容詞に限定した。
- (5) 野村貴郎「用言に接続する『です』の考察」『武庫川女子大学文学部五十周年 記念論文集』和泉書院, 1999, pp.79-92
- (6) 吉田金彦『現代語助動詞の史的的研究』明治書院, 1971, p.466
- (7) 吉田雅子「山梨県甲府市方言」科研報告書「全国方言文法辞典資料集(2)」(方言文法研究会)2014, p.61
- (8) 森山美紗子「島根県大田市方言における『終止形+ダ・デス』について」『思言 東京外国語大学記述言語学論集』11, 2015, p.184
- (9) 灰谷謙二「隠岐島二地点方言の風位語彙と漁場特定語彙 —中村と西郷にみられる地理的環境の比較から—」『尾道大学芸術文化学部紀要』11, 2011, p.49
- (10) 高山百合子「佐賀方言における用言の『語幹化』」筑紫女学園大学『人間文化研究所年報』26, 2015, p.173
- (11) 西島宏「長崎県大村市萱瀬方言の考察 —資料及び分析—」長崎大学『人文科学研究報告』5, 1955, pp.41-42
森由紀「外国人の方言学習をめぐる考察」『三重大学日本語学文学』6, 1955, p.116
- (12) 和田礼子「熊本方言要素の抽出と分類 — 談話資料にどのようなタグを付したか —」
科研費報告書『地域社会により順応するための「気付かれない方言」教材の作成とその方法論の構築』2015,
村上敬一「熊本県宇土市網津町旭方言の待遇表現」『方言資料叢刊』7, 1997, p.223
- (13) 「暑いでした」のほうが語法としては体系的であるが、「暑かったです」が現在では一般的で、心理的抵抗も少ないと思われる。

助動詞「です」の使用状況に関する調査 (その2)

武庫川女子大学 名誉教授 野村貴郎

〈調査のお願い〉

この調査は、現在における助動詞「です」の使用の実態を調査・分析し、その用法の変遷と現況とを研究する目的で行うものです。ご回答いただいた結果は統計的に処理し、この研究の目的以外には一切使用しませんので、ご多忙中まことに恐れ入りますが、本調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。

〈記入上の注意〉

01～55 が「です」の使用状況についての質問です。回答の選択肢は、すべて共通で、

- 1 = 正しいと思うので使っている 2 = 少し変だと思うが使っている
- 3 = 正しいと思うが私は使わない 4 = 変だと思うので私は使わない

の4種類です。アンダーラインの部分に注意して、あなたの「です」の使用状況に最も近いものを必ず一つ選び、その番号を○で囲んで下さい。

〈質問〉 あなたは、少し丁寧^{ていねい}に話そうとする場合、
次の 01～55 のような「です」の使い方をしますか？

	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
01 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行く</u> です。 1 2 3 4
02 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行く</u> でしょう。 1 2 3 4
03 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行かない</u> です。 1 2 3 4
04 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行きませんでした</u> 。 1 2 3 4
05 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行かなかった</u> です。 1 2 3 4
06 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行った</u> です。 1 2 3 4
07 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行く</u> の <u>です</u> 。 1 2 3 4
08 今日 <u>は</u> 図書館に <u>行く</u> ん <u>です</u> 。 1 2 3 4
	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
09 英語が話せない <u>と困る</u> です。 1 2 3 4
10 英語が話せない <u>と困る</u> でしょう。 1 2 3 4
11 英語が話せなくても <u>困らない</u> です。 1 2 3 4
12 英語が話せなくても <u>困りませんでした</u> 。 1 2 3 4
13 英語が話せなくても <u>困らなかつた</u> です。 1 2 3 4
14 英語が話せなくて <u>困つた</u> です。 1 2 3 4
15 英語が話せない <u>と困る</u> の <u>です</u> 。 1 2 3 4
16 英語が話せない <u>と困る</u> ん <u>です</u> 。 1 2 3 4
	正しいと思うので 使っている	少し変だと思うが 使っている	正しいと思うが 私は使わない	変だと思うので 私は使わない
17 京都の紅葉は <u>美しい</u> です。 1 2 3 4
18 京都の紅葉は <u>美しい</u> ですか？ 1 2 3 4
19 京都の紅葉は <u>美しい</u> でしょう。 1 2 3 4
20 京都の紅葉は <u>美しくない</u> です。 1 2 3 4
21 京都の紅葉は <u>美しかった</u> です。 1 2 3 4
22 京都の紅葉は <u>美しい</u> の <u>です</u> 。 1 2 3 4
23 京都の紅葉は <u>美しい</u> ん <u>です</u> 。 1 2 3 4

【集計表】

助動詞「です」の使用状況に関する調査／回答者数(人)・回答率(%)集計表

質問番号	1	9	17	24	31	38	45	50	18	25	32	39	46	51	2	10	19	26	33	40	47	52	3	11	20	27	34	41
整理番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
質問例文	今日は図書館に行くです	英語が話せないと困るです	京都の紅葉は美しいです	その鳥は背中が白いです	今年は雨の日が多いです	お腹が痛いです	ご返事は来週でいいです	今日は見たい番組がないです	京都の紅葉は美しいですか？	その鳥は背中が白いですか？	今年は雨の日が多いですか？	お腹が痛いですか？	ご返事は来週でいいですか？	今日は見たい番組がないですか？	今日は図書館に行くでしょう	英語が話せないと困るでしょう	京都の紅葉は美しいでしょう	その鳥は背中が白いでしょう	今年は雨の日が多いでしょう	お腹が痛いでしょう	ご返事は来週でいいでしょう	今日は見たい番組がないでしょう	今日は図書館に行かないです	英語が話せなくても困らないです	京都の紅葉は美しくないです	その鳥は背中が白くないです	今年は雨の日は多くないです	お腹が痛くないです
	△動詞+です▽		△形容詞+です▽					△形容詞+ですか▽					△動詞+でしょう▽		△形容詞+でしょう▽					△用言+ないです▽								

2017年

回答者数(人)	1	1	0	361	349	356	363	238	319	351	355	349	340	316	262	176	294	294	255	300	143	155	199	230	252	261	263	225	238
回答率(%)	1	0.3	0.0	95.8	92.6	94.7	96.5	63.6	84.8	93.1	94.2	92.8	90.4	84.5	69.7	46.8	78.0	78.2	67.8	79.8	38.2	41.3	52.9	61.2	67.0	69.6	70.1	59.8	63.6
	2	0.0	0.3	3.4	4.5	3.2	3.2	16.3	10.4	3.7	4.0	2.9	6.4	8.6	13.0	10.1	4.8	4.8	7.4	5.3	7.2	7.7	8.0	22.6	18.6	14.4	20.0	19.7	13.6
	3	0.3	0.3	0.0	1.3	0.8	0.0	4.0	1.1	2.4	0.5	1.1	0.8	0.8	2.7	21.8	15.6	11.7	13.3	10.4	11.5	13.9	13.3	2.1	3.7	6.9	2.9	4.0	3.5
	4	99.5	99.5	0.8	1.6	1.3	0.3	16.0	3.7	0.8	1.3	3.2	2.4	6.1	14.6	21.3	1.6	5.3	11.4	4.5	43.0	37.1	25.8	14.1	10.6	9.1	6.9	16.5	19.3

1999年

回答者数(人)	1	0	1	177	166	178	176	120	126	197	189	187	173	167	137	30	108	123	103	127	67	49	68	57	96	101	108	84	89
回答率(%)	1	0.0	0.5	86.3	81.0	86.8	85.9	58.5	61.8	96.1	92.2	91.2	84.4	81.5	66.8	14.7	53.2	60.6	50.7	62.0	32.8	24.3	33.2	28.4	47.1	49.5	52.7	41.2	43.6
	2	0.5	1.0	8.3	7.8	4.4	7.8	12.2	15.7	2.4	2.9	2.4	3.9	9.8	7.8	6.9	8.4	7.4	7.4	5.4	4.4	7.4	6.8	30.9	26.5	23.0	28.8	25.0	14.2
	3	0.0	0.0	2.0	3.9	4.4	1.0	6.3	3.9	1.0	1.0	2.0	2.9	1.5	3.9	35.3	22.7	19.7	19.2	17.6	18.6	12.9	16.6	7.5	8.3	7.8	5.4	7.4	6.4
	4	99.5	98.5	3.4	7.3	4.4	5.4	22.9	18.6	0.5	3.9	4.4	8.8	7.3	21.5	43.1	15.8	12.3	22.7	15.1	44.1	55.5	43.4	33.3	18.1	19.6	13.2	26.5	35.8

* 回答率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計は必ずしも100(%)になっているとは限らない。

質問番号 整理番号	4	12	5	13	6	14	21	28	35	42	53	7	15	22	29	36	43	48	54	8	16	23	30	37	44	49	55
質問例文	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
	今日は図書館に行きませんでした	英語が話せなくても困りませんでした	今日は図書館に行かかったです	英語が話せなくても困らなかったです	今日は図書館に行かったです	英語が話せなくて困りました	京都の紅葉は美しかったです	その鳥は背中が白かったです	今年は雨の日が多かったです	お腹が痛かったです	今日は見たい番組がなかったです	今日は図書館に行くのです	英語が話せないと困るのです	京都の紅葉は美しいのです	その鳥は背中が白いのです	今年は雨の日が多いのです	お腹が痛いのです	ご返事は来週でいいのです	今日は見たい番組がないのです	今日は図書館に行くんです	英語が話せないと困るんです	京都の紅葉は美しいんです	その鳥は背中が白いんです	今年は雨の日が多いんです	お腹が痛いんです	ご返事は来週でいいんです	今日は見たい番組がないんです
	△動詞＋ませんでした△	△動詞＋なかったです△	△動詞＋たです△					△形容詞＋たです△										△用言＋のです△	△用言＋んです△								

2017年

回答者数(人)	1	351	327	199	249	2	4	317	275	297	303	252	66	81	76	85	70	85	41	90	68	80	54	70	66	97	58	96
	2	12	28	108	90	4	8	42	69	53	43	68	56	70	67	59	59	68	46	72	198	206	175	178	170	184	111	178
	3	4	14	11	6	6	3	5	6	5	11	4	125	115	110	114	111	111	77	97	22	18	32	25	30	21	25	16
	4	10	8	58	30	364	360	9	22	18	17	51	129	111	123	115	136	112	210	117	89	73	116	103	110	74	182	86
	計	377	377	376	375	376	375	373	372	373	374	375	376	377	376	373	376	376	374	376	377	377	377	377	376	376	376	376
回答率(%)	1	93.1	86.7	52.9	66.4	0.5	1.1	85.0	73.9	79.6	81.0	67.2	17.6	21.5	20.2	22.8	18.6	22.6	11.0	23.9	18.0	21.2	14.3	18.6	17.6	25.8	15.4	25.5
	2	3.2	7.4	28.7	24.0	1.1	2.1	11.3	18.5	14.2	11.5	18.1	14.9	18.6	17.8	15.8	15.7	18.1	12.3	19.1	52.5	54.6	46.4	47.3	45.2	48.9	29.5	47.3
	3	1.1	3.7	2.9	1.6	1.6	0.8	1.3	1.6	1.3	2.9	1.1	33.2	30.5	29.3	30.6	29.5	29.5	20.6	25.8	5.8	4.8	8.5	6.6	8.0	5.6	6.6	4.3
	4	2.7	2.1	15.4	8.0	96.8	96.0	2.4	5.9	4.8	4.5	13.6	34.3	29.4	32.7	30.8	36.2	29.8	56.1	31.1	23.6	19.4	30.8	27.4	29.3	19.7	48.4	22.9

1999年

回答者数(人)	1	192	185	68	115	1	12	166	139	158	135	109	19	45	28	43	30	50	18	46	55	75	52	66	55	80	39	75
	2	2	5	74	55	2	17	19	42	33	27	39	26	28	16	21	18	25	10	23	110	105	80	96	95	95	77	95
	3	7	10	10	10	2	6	4	4	1	7	10	77	79	76	79	70	75	52	73	11	6	12	11	7	7	9	6
	4	2	5	52	25	198	169	14	20	13	34	45	83	52	84	62	86	54	124	62	29	19	61	31	48	23	80	28
	計	203	205	204	205	203	204	203	205	205	203	203	205	204	204	204	205	204	204	204	204	205	205	205	204	205	205	205
回答率(%)	1	94.6	90.2	33.3	56.1	0.5	5.9	81.8	67.8	77.1	66.5	53.7	9.3	22.1	13.7	21.0	14.7	24.5	8.8	22.6	26.8	36.6	25.4	32.4	26.8	39.0	19.0	36.8
	2	1.0	2.4	36.3	26.8	1.0	8.3	9.4	20.5	16.1	13.3	19.2	12.7	13.7	7.8	10.2	8.8	12.3	4.9	11.3	53.7	51.2	39.0	47.1	46.3	46.3	37.6	46.6
	3	3.5	4.9	4.9	4.9	1.0	2.9	2.0	2.0	0.5	3.5	4.9	37.6	38.7	37.3	38.5	34.3	36.8	25.5	35.8	5.4	2.9	5.9	5.4	3.4	3.4	4.4	2.9
	4	1.0	2.4	25.5	12.2	97.5	82.8	6.9	9.8	6.3	16.8	22.2	40.5	25.5	41.2	30.2	42.2	26.5	60.8	30.4	14.2	9.3	29.8	15.2	23.4	11.2	39.0	13.7